

基本情報



【年 齢】
29歳
【出身地】
三重県桑名市
【転出元】
三重県桑名市
【前 職】
マンション設計
【活動時期】
R5.10～R8.9

協力隊に応募したきっかけ

高校1年生のとき、テレビドラマで地域おこし協力隊という存在を初めて知りました。
その後大学で建築を学ぶ中で、「いつか地域おこし協力隊になって空き家に関する活動がしたい」と考えるようになりました。
大学卒業後は設計事務所等で戸建やマンションの設計をしていましたが、コロナの影響で仕事を辞め、自分の将来を考えていたときに、改めて地域おこし協力隊になりたいと思いました。
また仕事で培った知識がある今だからこそ、協力隊に挑戦する意味があるのではないかと思います応募を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

一ノ関駅前の新たな交流拠点「BAKKE（ばっけ）」をより多くの人に知っていただき、利用していただくことが1番の目標です。
最終的には、BAKKEを目的地ではなく“ついでに寄れる場所”または“何かが始まるきっかけの場所”として地域の人にとって当たり前にある存在になりたいと考えています。
協力隊卒業後は起業するのが目標です。
空き家や移住等に関する事業で起業し一関市と関わり続けられたらと考えているので、市から業務委託していただけるように準備を進めています。

活動内容

●交流拠点BAKKE（ばっけ）

【学生空き家活用プロジェクト】

令和6年度に一ノ関駅前の空き店舗を活用して学生とともに地域の交流拠点をつくるプロジェクトをおこないました。
参加した学生は主に修紅高校などの市内の学生（11名）と、早稲田大学などの都内の学生（4名）。
学生たちは地域を超えて交流を楽しみながら、チーム別にどんな交流拠点にするべきか活用案を考えるワークショップに取り組みました。（2024年10～11月）
その後実際に空き店舗を改修し、地元工務店協力のもと学生たちでもできる部分はDIYをして、自分たちが考えたものが形になる面白さを感じてもらいました。（2025年2～3月）
また、工事費や初期運営費などのために挑戦したクラウドファンディング（2024年9～10月実施）では、たくさんの方に応援していただき、目標金額100万円を達成することができました。

【交流拠点の運営開始】

2025年4月、交流拠点「BAKKE」がOPENしました。
地域の交流拠点としていろんな方にご利用いただいている他、私の活動拠点としての側面もあることで、空き家に関する相談や、お試し移住で一関市に滞在してる方が相談できる場所としても気軽に利用いただけるようになりました。
また、交流拠点としてだけではなく、都内の学生が一関へフィールドワークに来た際の会場としてや、事業者さんたちの会議スペースとしても利用いただくなど、お店ではない分、使いたい人によっていかようにも形を変えられる場所として親しんでいただいています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス（市専用）：misakima@city.ichonoseki.iwate.jp
メールアドレス（個人）：misaki.ichiworks1127@gmail.com
電話番号：0191-21-8194

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram（個人）：https://www.instagram.com/m.misaki_ichinos
Instagram（BAKKE）：https://www.instagram.com/bakke_1.ru/

